

ログイン日時 : 2021年01月04日 00時18分50秒 | 文 景楠 (教員) |

[× ログアウト](#)

シラバス情報照会 照会画面

条件指定画面 結果一覧画面 照会画面

シラバス情報

授業情報

| | | | |
|--------|---|----------|------|
| 授業コード | 3232544000 | 開講キャンパス | 泉 |
| 授業開講年度 | 2021年度 | | |
| 科目コード | 5102129920 | 科目分類 | 専門科目 |
| 科目名称 | 原典講読 B | | |
| 科目英字名称 | Reading of Original Texts B | | |
| 単位数 | 1.0 | | |
| 履修期 | 後期授業 | 抽選対象 | 対象外 |
| 代表教員番号 | 2014324 | シラバス投稿状況 | 投稿完了 |
| 担当者 | 李 承赫 | | |
| テーマ | パウロ・コエーリョの「アルケミスト - The Alchemist」の精読（後期） | | |
| 講義内容 | <p>（前期の原典講読Aに引き続き）この講義では、世界的に有名な作家、パウロ・コエーリョの「アルケミスト - The Alchemist」一冊を英語で一冊丸ごと読みます。前期と後期、合わせて2021年全学期の最後までに、この一冊を受講生のみんなが協力しあいながら読み切ることを目標にします。毎週6-7ページ程度の通読をターゲットにし、慣れてない単語や表現が出て慌てず、まずはわかる範囲で文脈・内容の「大きな図」を把握する読解能力を身に着けます。「大きな文脈的な絵」を頭の中で描くことができるようになったら、その後はもっと細かい内容まで自然にたどり着くことができるようになります。このような、英語読解において大事な「推理能力」を養うのがこの講義の大きなテーマです。この講義は「講読」が中心ですが、単なる「読み」だけでなく、必要に応じて「話し」と「聞き取り」も取り入れる予定です。文法も大事ですが、この講義に参加する受講生は、あるレベルの文法には達しているという前提で、毎週担当教員は特に重要だと考える表現や、本の中で描かれている、文化的な側面を英語で教えることに重心を置きます。なお、特に講読の授業は予習せず参加する受講生が多くなると講義がスムーズに行かないので、他の受講生のためにも必ず毎週予習をしてきてください。</p> | | |
| 達成目標 | <p>① 慣れてない単語や表現が出て、わかる範囲でまずは内容の「大きな図」を文脈で把握し、そこから細かい内容の理解まで自力でたどり着くための「推理能力」を養う。（読む）</p> <p>② 講義で習った用語と表現を使って、自分の意見を簡単な英語で述べるができる。（書く）</p> <p>③ 講義中に定期的に行われる、担当教員と受講生とのテキストの内容に関する英会話によって、自分が使いこなせる単語と表現を駆使して自分の意見を簡単な英語ではっきり伝えることができ、相手の話に対する</p> | | |

| | |
|--------------|---|
| | 聞き取り能力も向上する。(聞く、話す) |
| 授業計画 第1回 | 【事前学習】授業内容・方法及び成績評価方法・基準を中心に、シラバス記載内容の熟読と理解。manaba course の機能の使用練習。 【授業内容】導入授業：授業の趣旨・テーマ、達成目標、授業内容・方法、成績評価方法・基準の詳しい説明。 【事後学習】テキストの導入のイントロ部分を読む。 |
| 授業計画 第2回 | 【事前学修】85-92ページを読む。 【授業内容】85-92ページの精読と重要表現・単語の学習。 【事後学修】今週の小課題1 (Manabaで) |
| 授業計画 第3回 | 【事前学修】93-100ページを読む。 【授業内容】93-100ページの精読と重要表現・単語の学習。 【事後学修】今週の小課題2 (Manabaで) |
| 授業計画 第4回 | 【事前学修】101-108ページを読む。 【授業内容】101-108ページの精読と重要表現・単語の学習。 【事後学修】今週の小課題3 (Manabaで) |
| 授業計画 第5回 | 【事前学修】109-115ページを読む。 【授業内容】109-115ページの精読と重要表現・単語の学習。 【事後学修】今週の小課題4 (Manabaで) |
| 授業計画 第6回 | 【事前学修】116-123ページを読む。 【授業内容】116-123ページの精読と重要表現・単語の学習。 【事後学修】今週の小課題5 (Manabaで) |
| 授業計画 第7回 | 【事前学修】第2回—6回の授業の内容の読み返し。 【授業内容】到達度確認授業：前半は第1回小テスト。読解・英訳・和訳。後半は小テストの結果発表とフィードバック。 【事後学修】小テストの自己分析。 |
| 授業計画 第8回 | 【事前学修】124-131ページを読む。 【授業内容】124-131ページの精読と重要表現・単語の学習。 【事後学修】今週の小課題6 (Manabaで) |
| 授業計画 第9回 | 【事前学修】132-140ページを読む。 【授業内容】132-140ページの精読と重要表現・単語の学習。 【事後学修】今週の小課題7 (Manabaで) |
| 授業計画 第10回 | 【事前学修】141-148ページを読む。 【授業内容】141-148ページの精読と重要表現・単語の学習。 【事後学修】今週の小課題8 (Manabaで) |
| 授業計画 第11回 | 【事前学修】149-157ページを読む。 【授業内容】149-157ページの精読と重要表現・単語の学習。 【事後学修】今週の小課題9 (Manabaで) |
| 授業計画 第12回 | 【事前学修】158-166ページを読む。 【授業内容】158-166ページの精読と重要表現・単語の学習。 【事後学修】今週の小課題10 (Manabaで) |
| 授業計画 第13回 | 【事前学修】167-175ページを読む。 【授業内容】167-175ページの精読と重要表現・単語の学習。 【事後学修】第2回小テストのための復習。英作文課題の提出前の確認。 |

| | |
|--------------|---|
| 授業計画 第14回 | <p>【事前学修】第8回—13回の授業の内容の読み返し。</p> <p>【授業内容】到達度確認授業：前半は第2回小テスト。読解・英訳・和訳。後半は小テストの結果発表とフィードバック。</p> <p>【事後学修】小テストの自己分析。英作文課題の完成。</p> |
| 授業計画 第15回 | <p>【事前学修】176-185ページを読む。</p> <p>【授業内容】英作文課題の提出。176-185ページの精読と重要表現・単語の学習。</p> <p>【事後学修】英作文課題の自己分析。講義に関するコメント・感想をManabaに書く。</p> |
| 授業計画 第16回 | |
| 授業計画 第17回 | |
| 授業計画 第18回 | |
| 授業計画 第19回 | |
| 授業計画 第20回 | |
| 授業計画 第21回 | |
| 授業計画 第22回 | |
| 授業計画 第23回 | |
| 授業計画 第24回 | |
| 授業計画 第25回 | |
| 授業計画 第26回 | |
| 授業計画 第27回 | |
| 授業計画 第28回 | |
| 授業計画 第29回 | |
| 授業計画 第30回 | |
| 成績評価方法 | <p>次の(1)～(5)の方法で上記「達成目標」の達成度を評価する。</p> <p>(1) 第1回小テスト 25% (達成目標①, ②)</p> <p>(2) 第2回小テスト 25% (達成目標①, ②)</p> <p>(3) 英作文課題 25% (達成目標①, ② ただし、作文課題ではあるが、講義中に「読む」、「書く」、「聞く」、「話す」の全側面に対して積極的に取り組まない限り、いい英作文ができない)</p> |

| | |
|-------------------------|--|
| | <p>(4) 授業参加評価・平常点 15% (達成目標③ 授業中に定期的に行われる英会話への参加)</p> <p>(5) 「今週の小課題」 (1×10) 10% (達成目標①)</p> <p>・各評価方法と評価基準・観点の詳細は開講時に説明。</p> |
| 学修に必要な準備 | <p>・中級以上の英和辞典を準備する(電子辞書でも可)。</p> <p>・英語への自信の有無にかかわらず、この講義の英語教育のスタイルに対して「開かれた姿勢(open mindedness)」を持つこと。また、他の外国語学習と同じく、「完璧主義者」にならず、いつでも「楽しみながら学ぶ」ことの大切さを心構えにすること。</p> <p>・英語の本を一冊完読することが持つ意味と達成感を前もって理解すること。</p> |
| 関連して受講することが望ましい科目 | |
| テキスト | (前期の原典講読Aと同様) アルケミスト - The Alchemist 【講談社英語文庫】 文庫 - 2005/9/8 (英語版) パウロ・コエーリョ (著) ISBN-13: 978-4770040190 |
| 参考文献 | |
| 履修上の注意 | <p>・オフィスアワーは開講時に指示する。</p> <p>・初回授業で受講方法に関する詳しい説明をするので履修希望者は必ず出席すること。</p> <p>※この授業は対面授業として行う。ただし、健康上の理由などで、大学への申請により遠隔授業の受講を認める受講者に対しては、教室の映像の送信などをし支援する「ハイブリッド型」授業による対応を検討する。</p> |
| カリキュラム中での位置付け及び教育目標との関連 | この科目とディプロマ・ポリシーとの関係については、学科の「カリキュラムマップ」を参照のこと。 【アクティブラーニング科目】 |
| 添付ファイル1 | 説明1 |
| 添付ファイル2 | 説明2 |
| 添付ファイル3 | 説明3 |
| 添付ファイル4 | 説明4 |
| 添付ファイル5 | 説明5 |
| 関連URL1 | |
| 関連URL2 | |
| 関連URL3 | |

教室情報

| 項番 | 履修年度 | 開講期 | 曜時 | 使用開講期 | 教室 |
|----|--------|------|--------|-------|------------|
| 1 | 2021年度 | 後期授業 | 木曜 2校時 | 後期授業 | 泉) 31C 講義室 |

カリキュラム情報

| 項番 | 学生区分 | 所属区 | 学部 | 学科 | 専攻・コース | 適用入学年度 |
|----|------|-----|----|----|--------|--------|
| | | | | | | |

| | | | | | | |
|----|-----|-----|------|--------|----------|---------------|
| 1 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | | 2011年度～2011年度 |
| 2 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | | 2012年度～2012年度 |
| 3 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | | 2013年度～2014年度 |
| 4 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | | 2015年度～2016年度 |
| 5 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | | 2015年度～2018年度 |
| 6 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | | 2017年度～2018年度 |
| 7 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | | 2019年度～2019年度 |
| 8 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | | 2019年度～2100年度 |
| 9 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | | 2020年度～2100年度 |
| 10 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | ドイツ語コース | 2011年度～2011年度 |
| 11 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | ドイツ語コース | 2012年度～2012年度 |
| 12 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | ドイツ語コース | 2013年度～2014年度 |
| 13 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | ドイツ語コース | 2015年度～2016年度 |
| 14 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | ドイツ語コース | 2015年度～2018年度 |
| 15 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | ドイツ語コース | 2017年度～2018年度 |
| 16 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | ドイツ語コース | 2019年度～2019年度 |
| 17 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | ドイツ語コース | 2019年度～2100年度 |
| 18 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | ドイツ語コース | 2020年度～2100年度 |
| 19 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | フランス語コース | 2011年度～2011年度 |
| 20 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | フランス語コース | 2012年度～2012年度 |
| 21 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | フランス語コース | 2013年度～2014年度 |

| | | | | | | |
|----|-----|-----|-------------|--------|---------------|-------------------|
| 22 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 ス | 言語文化学科 | フランス語コー ス | 2015年度～2016年 度 |
| 23 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 ス | 言語文化学科 | フランス語コー ス | 2015年度～2018年 度 |
| 24 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 ス | 言語文化学科 | フランス語コー ス | 2017年度～2018年 度 |
| 25 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 ス | 言語文化学科 | フランス語コー ス | 2019年度～2019年 度 |
| 26 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 ス | 言語文化学科 | フランス語コー ス | 2019年度～2100年 度 |
| 27 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 ス | 言語文化学科 | フランス語コー ス | 2020年度～2100年 度 |
| 28 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | 中国語コース | 2011年度～2011年 度 |
| 29 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | 中国語コース | 2012年度～2012年 度 |
| 30 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | 中国語コース | 2013年度～2014年 度 |
| 31 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | 中国語コース | 2015年度～2016年 度 |
| 32 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | 中国語コース | 2015年度～2018年 度 |
| 33 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | 中国語コース | 2017年度～2018年 度 |
| 34 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | 中国語コース | 2019年度～2019年 度 |
| 35 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | 中国語コース | 2019年度～2100年 度 |
| 36 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 | 言語文化学科 | 中国語コース | 2020年度～2100年 度 |
| 37 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 コース | 言語文化学科 | 韓国・朝鮮語 コース | 2011年度～2011年 度 |
| 38 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 コース | 言語文化学科 | 韓国・朝鮮語 コース | 2012年度～2012年 度 |
| 39 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 コース | 言語文化学科 | 韓国・朝鮮語 コース | 2013年度～2014年 度 |
| 40 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 コース | 言語文化学科 | 韓国・朝鮮語 コース | 2015年度～2016年 度 |
| 41 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 コース | 言語文化学科 | 韓国・朝鮮語 コース | 2015年度～2018年 度 |
| 42 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 コース | 言語文化学科 | 韓国・朝鮮語 コース | 2017年度～2018年 度 |

| | | | | | | |
|----|-----|-----|-------------|--------|--------|-------------------|
| 43 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 コース | 言語文化学科 | 韓国・朝鮮語 | 2019年度～2019年 度 |
| 44 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 コース | 言語文化学科 | 韓国・朝鮮語 | 2019年度～2100年 度 |
| 45 | 学部生 | 学部生 | 教養学部 コース | 言語文化学科 | 韓国・朝鮮語 | 2020年度～2100年 度 |

[戻る\(X\)](#)

Copyright(C) TOHOKU GAKUIN All Rights Reserved.